APU国内学生保護者会
2022年度　オンライン懇談会

APUの教学について

事務局　大澤　芳樹

本日のテーマ

１．キャンパスでの学びの状況

２．Off-Campus Programについて

３．2023年度からの教学内容

Ⅰ．キャンパスでの学びの状況

＜2022年度秋セメスターの授業実施方針＞

- 入国制限の緩和を受け、2022年度より対面での授業を本格的に再開

- 秋セメスターについても授業は一部科目を除いて原則として対面で実施

- 春セメスターまでは教室定員を50%として授業を実施していたが、秋セメスターからは適切な感染防止対策を講じた上で通常定員で授業を実施

＜2022年度秋セメスターの授業実施形態＞

	対面	オンライン	総計
学部言語	265	14	279
学部講義	277	110	387
大学院講義	38	14	52
大学院言語	2	1	3
大学院後期講義		1	1
合計	582	140	722
割合	80.6%	19.4%	100.0%

- オンライン授業は主に基礎疾患等を持つ専任教員と遠隔地からの非常勤教員

2. Off-Campus Programについて

- 2021年度までは新型コロナウイルスの影響により大部分のプログラムを中止もしくはオンラインで実施
- 2022年度より海外に派遣するOff-Campusプログラムについても順次再開
- 2023年度にはコロナ以前の派遣者数に戻すことを目標

＜2022年度秋セメスターの状況＞

番号	ジャンル	プログラム	申請期間	人数(予定を含む)
1	初年次	FIRST(国際学生向け、国内)	9/21-10/13	23
2	初年次	SECOND	10/5-26	33
3	言語	イマージョンプログラム	10/12-10/26	韓国:52 スペ:3(閉講) タイ:3(閉講) マレイン:4(閉講)
4	キャリア	SEND	10/12-10/26	19
5	キャリア	フィールドスタディ／プロジェクト研究	10/12-10/26	53
6	キャリア	AGR	未定	37
7	キャリア	サービス・ラーニングプログラム(UT)	12月中旬～2023年1月(予定)	10
8	キャリア	協定型インターンシップ	11/18-12/9 ただし、企業によって異なる	-
9	キャリア	日本語パートナーズ	未定	4
10	交換留学	交換留学(派遣)	10/3-11/3	195
11	交換留学	サマー・ウィンタープログラム	大学によって異なる	派遣先の大学の受け入れ人数による
12	交換留学	国内留学	10/5 - 10/21	9
13	言語	EXPLORE	11/1-11/30	派遣先の大学の受け入れ人数による

３．2023年度以降の教学内容

「第2の開学」における新たな学びの形態
～Global Learning On/Off-Campus 構想～

- 開学以来のAPUの学びの中心は世界に類を見ない多文化環境キャンパスにおける学びと学外で実施される多様なフィールド・形態での学び
- コロナ禍を契機として導入されたオンライン授業などを最大限に活用し、「第2の開学」におけるAPUの新たな学び「Global Learning On/Off-Campus 構想」として具体化

Global Learning (Off-Campus) × Global Learning (On-Campus)のイメージ

Global Learning Off-Campus

＜フィールドスタディなど＞

- 教員は学生を引率しながらAPUの科目をオンラインで担当
- 学生は学外での活動を行いながらAPUの科目をオンラインで受講

＜インターンシップなど＞

- 学生はインターンシップを行いながらAPUの科目を受講

オンラインでAPUの科目を担当

オンラインでAPUの科目を受講

Global Learning On-Campus

- オンライン授業の授業
- オンデマンド型授業
- COIL科目　など

各種連携
(ゲストスピーカーなど)

インターンシップ先・滞在先などの提供

学外連携ネットワーク
校友ネットワーク

教員ネットワーク
（国内外の他大学教員など）

多様な教員へ非常勤委嘱

オンラインでAPUの科目を担当

教員ネットワークの開拓・蓄積

学外連携ネットワーク
校友ネットワーク
の開拓・蓄積

- 情報の一元化
- ステークホルダーと学内リソース連携の一元化
- 活動の高度化

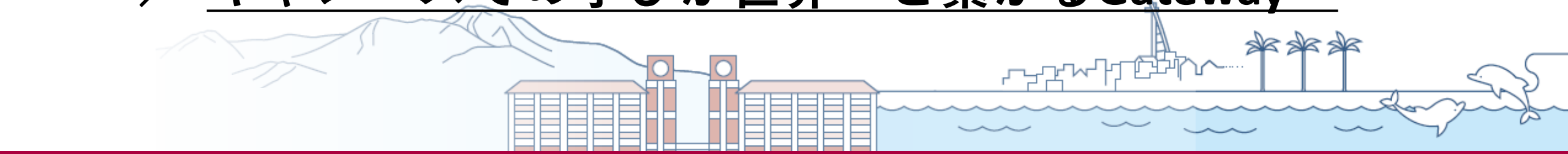
ステークホルダーデータベース

「第2の開学」における新たな学びの形態
～Global Learning On/Off-Campus 構想～

① Global Learning <u>On</u>-Campus（主に低回生を対象）

- 初年次はキャンパスの寮（AP House）で共同生活をしつつ、正課・課外の両方で Inclusive な人間関係を構築し、協働プロジェクトを経験することを重視。そのため、On-Campusの学びの中で世界に触れる。
- 多様なバックグラウンドを持つ教員による授業と世界中から集まった学生同士の協働学修に加え、オンラインシステムをはじめとした教育DXを活用し、世界と繋がった学びを実現する

→ **<u>キャンパスでの学びが世界へと繋がるGatewayへ</u>**



Global Learning On-Campusの例①

<世界中の大学教員による科目の履修>

→　APU教員の持つ世界的ネットワークを活用し、世界中の大学教員を非常勤教員として委嘱

◆ジトーミル州立大学(ｳｸﾗｲﾅ)教授による「国際関係理論」（APS）

◆ポズナン経済ビジネス大学(ﾎﾟｰﾗﾝﾄﾞ)准教授による「マーケティングリサーチ」（APM）

◆ワシントン大学名誉教授（Geneva Centre for Security Policy 外交対話局長）がアジア太平洋研究科のセッションに参加

Global Learning On-Campusの例②

<海外大学と連携したCOIL型科目の履修>

→　海外大学と連携し、各学部単位でCOIL型科目を開講（2023年度からは各学部で2科目程度を開講予定）

→　キャンパスにいながらCOIL型科目で海外大学の学生と学ぶ「ミニ交換留学」を実現

連携候補先：APS：タマサート大学（タイ）、プラハ首都大学（チェコ）
APM：モンテレー工科大学（メキシコ）、清華大学（中国）

「第2の開学」における新たな学びの形態
～Global Learning On/Off-Campus 構想～

② Global Learning Off-Campus（主に上回生を対象）

- 上回生ではglobal student mobilityを追究しつつ、APUのカリキュラムとの連続性、接続性を高める。
- コロナ禍以前の2019年度は800名を超える学生を海外に派遣していたが、その多くは学期中のキャンパスでの学びに影響の少ない短期派遣のプログラムが中心
- オンラインシステム等を活用し、キャンパスでの学びを継続できる環境を整備することによって、学生がより長期間にわたり学外での学ぶことが可能に

→　より多くの学生が世界をフィールドとしてより実践的に学ぶ

世界をフィールドに実践的に学ぶ
Global Learning Off-Campusプログラム

＜フィールドスタディプログラムの例＞

連携先 国・地域	内容
スロバキア、 オーストリア、 チェコ等	ウィーン、プラハ、スロバキア、ブルノを訪問し、各国の芸術、映画、テレビ、演劇、文学の歴史について学ぶとともに、周辺国との関係から各国の政治を理解するプログラム。現地の第一線の学者やメディア関係者によるレクチャー、ブラティスラヴァ国際教養学校の学生とのアクティブラーニングも実施。
タイ	バンコクにおいて、様々な社会的起業家が参加するStartup Business Campへ参加。社会起業家との交流、創造性や自己啓発のワークショップへの参加などを通じて、貧困、失業、飢餓、食糧、クリーンで持続可能な環境、教育などの社会問題について議論し、その問題を解決するためのビジネスアイデアを提案するプログラム
インド	インドが国際的な技術・サプライチェーン大国となりつつある理由と、この高成長環境においてインドのビジネスがどのように繁栄し、競争しているかを理解するプログラム。バンガロール、ケララ、テランガナ、ムンバイで新興技術や伝統的なビジネス環境に携わる大企業・中小企業の人々に会い、インタビューする。

私たちが、世界を変える。
APU、第2の開学。